

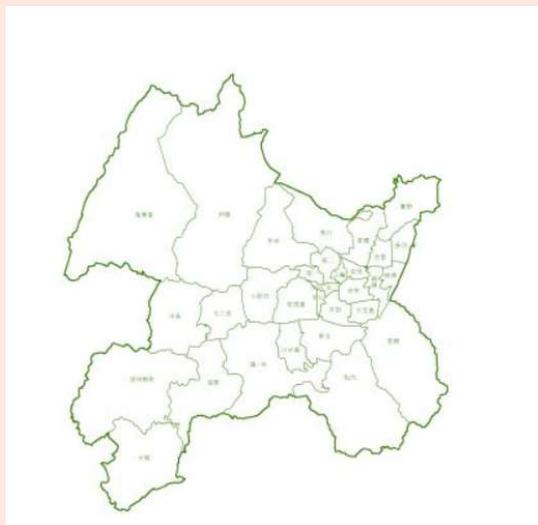
長野市

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みについて

令和5年度から学習会及び協議の場を開催して経過から、令和6年度から本格的に協議の場を設け、計画的に課題の共有と解決に向けた方向性を模索する。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

長野市



取組内容

・精神障害者が必要な支援を受けて、地域の中で安心して生活できるよう、地域全体の目標や課題等を関係者で共有し、対応策を検討しながら、連携体制を取することを目的として、第2次 長野市障害者基本計画の「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」において、令和5年度の目標として協議の場の設置しました。

基本情報（都道府県等情報）

<基本情報入力シート>

自治体名（記入してください）

長野市

（※「■網掛け」部分及び「●」部分に半角数字で入力してください）

障害保健福祉圏域数（R6年4月時点）	1	か所	
市町村数（R6年4月時点）	9	市町村	
人口（R6年1月時点）	365,505	人	
精神科病院の数（R●年●月時点）		病院	
精神科病床数（R●年●月時点）		床	
入院精神障害者数 （R●年●月時点）	合計	0 人	
	3か月未満（％：構成割合）	#DIV/O! 人 ％	
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	#DIV/O! 人 ％	
	1年以上（％：構成割合）	#DIV/O! 人 ％	
		うち65歳未満	人
		うち65歳以上	人
退院率（R●年●月時点）	入院後3か月時点	％	
	入院後6か月時点	％	
	入院後1年時点	％	
相談支援事業所数 （R6年5月時点）	基幹相談支援センター数	0 か所	
	一般相談支援事業所数	15 か所	
	特定相談支援事業所数	32 か所	
保健所数（R6年4月時点）	1	か所	
（自立支援）協議会の開催頻度（R●年度）	（自立支援）協議会の開催頻度 精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無 回/年	
		有・無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R6年4月時点）	都道府県	有・無 か所	
	障害保健福祉圏域	有・無 か所/障害圏域数	
	市町村	有・無 1 / 1 か所/市町村数	

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

1.協議会の場所の設置

増加傾向にある精神障害者に対する包括的な支援を行うため、保健・医療・福祉・介護関係者を構成メンバーとして、地域課題解消に向けて支援体制を構築する。

2.自立支援協議会との関係

課題を抽出して問題解決に向けて必要に応じて、長野市障害ふくしネットと連携を図る。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

・精神障害者が必要な支援を受けて、地域の中で安心して生活できるよう、地域全体の目標や課題等を関係者で共有し、対応策を検討しながら連携体制を取ることを目的として、第2次 長野市障害者基本計画の「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」において、令和5年度の目標として協議の場の設置しました。令和6年度は、構成メンバーからの意見を踏まえて、長野市では何が足りないのか、それに向けてのテーマを決定して取り組む計画となっています。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜昨年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (昨年度当初)	実績値 (昨年度末)	具体的な成果・効果
①増加傾向にある精神障害者に対する包括的な支援を行うため、行政・福祉・医療・当事者を交えた協議会の場の設置	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年1月に学習会を開催し現状の把握ができた ・令和6年3月に協議会の開催、課題について関係機関からの発信と状況共有ができた

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

長野市障害ふくしネットに属するメンバーがそのまま構成員となっており地域の実情や課題が得られる環境にある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
		行政	協議会の場の運営、参画
様々な課題から解決に向けての具体的な取り組み方法やマンパワーが足りない	協議会の場において課題の共有を図り、体制整備の促進を図る	医療	協議会の場への参画、連携
		福祉	協議会の場への参画、連携
		その他関係機関・住民等	協議会の場への参画、連携

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (今年度末)	見込んでいる成果・効果
①協議会の実施	3	3	テーマを決定して具体的な動きとしたい

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

精神障害者が必要な支援を受けて、地域の中で安心して生活できるよう、地域全体の目標や課題等を関係者で共有し、対応策を検討しながら連携体制の構築を目標とする。

所管部署名	所管部署における主な業務
障害福祉課	協議の場の運営

連携部署名	連携部署における主な業務
保健所健康課	協議会への参画、連携
中部地域包括支援センター	協議会への参画、連携

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・退院支援・地域生活支援連絡会の定期開催 ・協議の場への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・措置入院患者数が全国の上位
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中に退院に向けた支援について協議ができるよう地域移行支援コーディネータほか関係者と連携を図っている ・協議の場への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の長期化と高齢化で地域に移行するタイミングが難しい ・24時間受け入れ態勢の早期構築
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会において退院支援について医療機関との連携や協議を行っている ・協議の場への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・GHの体験は可能だが、一人暮らしの体験する場がない ・一般相談支援事業所が市内に15か所あるが、相談支援専門員への新規相談がスムーズに進まない
その他関係機関・住民等	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの支援のほか訪問看護の体制が整えば早期退院に繋がる一方、家族及び地域住民の理解が得られない

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
協議会	行政、保健、介護、医療、訪問、福祉、当事者	3回 (6月,9月,1月)	関係機関からの情報共有、優先課題の決定	入院に至る経過の複雑性や高齢化、退院に向けての環境整備やマンパワーの不足等課題が山積している

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）

事業利用予定年数：令和9年度まで

長期目標	基幹相談支援センターとの連携で関係機関の携の強化
------	--------------------------

年度	実施内容	具体的な取組
R6年度	啓発活動	精神障害者の地域生活の現状の検証から課題解決に向けた研修会の開催
R7年度	未定	未定
R8年度	未定	未定
R9年度	事業利用終了、自治体で推進	

9 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

短期目標 (今年度)	にも包括に係る協議の場の継続開催	
スモール ステップ	都道府県等密着アドバイザーの選任	
時期(月)	実施内容	具体的な取組
6月	協議会の開催	6年度の目標設定
9月	協議会の開催	6年度の事業実施計画の決定
1月	研修会(協議会)の開催	不動産関係団体との意見交換